

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード 431

施策 青少年の健全育成

管理事業 地域・青少年教育事業

3 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① こども110番 見まもり活動支援事業	まなびの支援課	登下校時の子供の安全を確保するための見まもり安全活動に必要な消耗品を支給。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 1,473	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 各小学校区17,500円以内で見まもり活動に係る消耗品を支給し、また、「こども110番の家」運動協力者に旗及びプレートを配布している。少ない経費で子供の安全確保に寄与していると考えているが、見まもり活動を行う各団体にアンケートを行い、今後もより有効な支援を実施していく。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 子供文化鑑賞事業	青少年室	演劇鑑賞を通じて子供たちに夢と感動を与え、豊かな情操を養うことで青少年の健やかな育成に役立てる。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 693	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 「市民平和のつどい」の一環として開催しており、演劇や人形劇等を通して人と人の交流や思いやりのあるものを提供している。インターネットやSNS偏重の時代にあつては、演劇鑑賞を通じ子供の情操教育に有効であると考えている。更なる情操教育のため観客参加型のワークショップを取り入れて実施している。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ ヤングフェスティバル事業	青少年室	20歳以下の青少年を中心とした、バンド演奏や、ヒップホップ・ストリート系のダンス等の発表の場を提供し、出演者は運営にも携わる。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 0	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 メイシアターが会場となっているが、平成29年度は工事のため、また、令和元年度は地震による損傷の復旧のため、事業は休止となった。未開催年があることよって、近年参加団体は減少しているものの、平成30年度はバンド10団体・ダンス12団体が参加する等、プロと同じ舞台に立て、プロの評価を受けられるということで、青少年のニーズは高いと分析している。今後については、周知方法等を見直し、より多くの青少年の参加を目指す。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 山の学校・海の学校事業	青少年室	海洋体験(カヌー等)、雪遊び、スキーなどの自然体験と、家を離れ仲間と共に過ごす生活体験活動を展開している。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 505	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 不登校やひきこもりなどが社会問題となるなか、義務教育期間であれば、学校と連携しながら、キャンプ参加後のフォローを行うことができる。また、いわゆる「元気な子供」を対象とした自然体験活動は民間やNPO団体が数多く実施しているが、不登校児童生徒を対象としたキャンプはまだ少ないこと、参加者数も増加傾向にあることから、市が関与すべき事業であるとともに、本事業の実施意義はあるものとする。なお、家庭の経済状況に関わらず、参加できる制度とするため、平成30年度から生活保護家庭からの参加者の負担金を補助する制度を実施している。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ 自然体験活動・環境教育推進事業	青少年室	海洋体験(カヌー等)、雪遊び、スキーなどの自然体験と、家を離れ仲間と共に過ごす生活体験活動や自然体験活動実施のための専門指導員を配置する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 3,656	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 不登校の児童生徒が通う「光の森」「学びの森」や学校との連携を図りながら、事業を実施しているところから、教員管理職OBの専門指導員を配置している。児童生徒との関係を深め、「さわやか元気キャンプ」への参加を促しながら、学校復帰への準備の一助を担っており、引き続き専門指導員を配置すべきと考えているが、教員管理職が不足しており、今後、人材確保が課題となるものと考えている。		

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥ 吹田市・若狭町子ども会 リーダー交歓会	青少年室	昭和45年(1970年)に吹田市で開催された万国博覧会に、本市が福井県三方町(現若狭町)の子供たちを招待したことを契機に、子ども会リーダー同士の交流を深めることを目的として、隔年ごとに両市町を訪問する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点		今後の方向性
令和 元 年度	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■		継続
(千円) 255	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 若狭町では、現在も子ども会や子ども会リーダーの活動が継続して行われているが、吹田市では子ども会も子ども会リーダーの活動も縮小しており、リーダー育成が思うように進んでいない現状がある。産業構造や人口などが大きく異なる吹田市と若狭町の子供たちが交流することの意義はとも意識あるものと考えられるため、事業の主旨を活かしつつ、対象の見直し、参加者の募集方法やボランティアリーダースタッフの確保等について関係団体等と協議していく必要がある。		

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課
一般事務事業	まなびの支援課		
一般事務事業	青少年室		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード 431

施策 青少年の健全育成

管理事業 地域・青少年教育事業

3 枚のうち 2 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑦ 吹田市こども会スポーツ大会事業	青少年室	市内のこども会加入の小学生を対象としたスポーツ大会を開催する。競技種目はソフトボール(男子チーム又は男女混成チーム)、キックベースボール(女子チーム又は男女混成チーム)。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 297	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 参加チーム数が減少しつつも一定数のチームが出場している点、子供たちが本大会を目標に練習に励んでいる等の点から、本事業の実施意義はあるものと考えられる。 現状の出場資格には、チームが同一中学校区のこどもで編成されるであることが挙げられているが、交流を目的とするならば、出場条件を緩和することも視野に、より多くのチームに出場機会を設ける方策について検討する必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑧ 吹田市スカウトリーダー養成事業	青少年室	青少年活動指導者養成の一環として、スカウトリーダーの養成講習会を、ボーイスカウト、ガールスカウトを対象に実施し、スカウト運動の原理とその方法を正しく理解し、青少年の健全育成に役立てることを目的とする。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 101	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 市の様々な行事への協力依頼に対応いただいているボーイスカウト、ガールスカウトのリーダー養成事業である。リーダー養成講習会や研修会を実施し、リーダーを養成し、スキルの向上を図ることは、自然体験活動に参加者に還元され、青少年の健全育成に資するものであり、スカウト運動の原理とその方法を理解する場として機能しているものと考えられる。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑨ 吹田市成人祭事業	青少年室	新成人で構成される実行委員の参画により、手作りイベント「二十歳のつどい」を開催して、毎年趣向を凝らした催しコーナーを企画・実施するもの。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 3,804	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 新成人が参画する実行委員への事業委託により、当事者の意見を反映した手作りイベント「二十歳のつどい」において毎年趣向を凝らした催しコーナーを企画しており、事業効果は大きいと考えられる。 市も事務局として、成人祭実行委員会との契約事務・公金管理等に留意しつつ、新成人の意見やアイデアを更に反映した催しとなるよう、綿密な打ち合わせを行っていく。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑩ 吹田市青少年リーダー講習会事業	青少年室	地域で活躍する青少年リーダーの養成に向けて、ゲーム研修や野外活動等の実習を実施する。実施場所として、吹田市自然体験交流センター(わくわくの郷)、吹田市立少年自然の家(もくもくの里)等で実施する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 340	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 地域におけるリーダー数の減少から、協力スタッフの確保が課題となっている。本事業の参加者がリーダーとして地域や事業で活躍している実績があるため、過去の事業参加者へ案内を行い、リーダー数の増加を図る必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑪ 吹田青少年野外コンサート事業	青少年室	20歳以下の青少年を中心とした、野外での吹奏楽やコーラス等のコンサート。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 470	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 長年、継続して実施してきた事業で、地域や出演団体には定着しており、観客も多数来場する。野外での演奏のため、気温が上がる日には熱中症対策が必要となり、雨天時は楽器保護の観点から中止になることもあるなど、参加者や来場者の安全管理や、楽器の取り扱いが難しい。また、働き方改革の中、参加団体の顧問として参加する教師等への配慮や、楽器搬入のための自動車の置き場等、今後の事業継続にあたって考慮すべき課題も多く、来年度以降の実施に向け、対応を協議する予定である。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑫ 青少年健全育成保険加入等事業	青少年室	市民活動を対象とした市の総合的な保険制度である「市民活動災害補償制度」の対象外となる部分について青少年室で保険に加入し、指導者等が安心して活動できるようにする。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 774	評価の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ボランティア等の力を借りて行事を開催する際の怪我や事故への対応については、市の市民活動災害補償制度が基本となるが、宿泊を伴う行事や有償ボランティアについては対象とならない。青少年に関わる市民ボランティアの活動を側面から援助するため、保険制度に加入することは必要であると考えている。	今後の方向性 継続

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード 431

施策 青少年の健全育成

管理事業 地域・青少年教育事業

3 枚のうち 3 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑬ 青少年指導員活動事業	青少年室	青少年の健全育成の推進のため、各地区青少年対策委員会長の推薦を受け、青少年指導員を委嘱(2年任期)。行政と地域のパイプ役と担うなど青少年の健全育成と非行防止を図る。活動内容は、広報・啓発活動、研修の実施、教育委員会からの委託事業の受託、環境調整活動等。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 9,945	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 各小学校区5名の指導員を配置することにより、地域に根付いた活動や地域との架け橋となって、青少年の健全育成・非行防止活動に取り組んでいる。地域ではPTAや子ども会や自治会などの各種団体と連携しており、地域行事等では、中心的な役割を担っています。また、パトロール活動や環境整備活動等、地道な活動を継続して行うなど、青指としての活動する機会は様々で、継続すべき事業と考えている。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑭ 青少年指導者講習会事業	青少年室	青少年活動に関わる方々を対象にその時々の課題や理解啓発をテーマとして講演や実技の講座を実施し、指導者の育成を図る。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 119	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 地域で見守りなどのボランティア活動に関わりたいと思われる方が、最低限度必要な知識を身に付けられるようになること、子供たちを取り巻く社会の課題をより多くの方々に啓発すること等を目的に実施しており、「地域の大人の目と心で子供を見守り、育てる環境作りを進めるための指導者の育成を図る」目標を果たしている。その時々の課題の把握やテーマにふさわしい講師に講演等を依頼していますが、年間6回と実施回数が多いため、府機関の講師派遣を活用するなど、予算の範囲内での実施に苦慮している。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑮ 地区青少年健全育成事業への助成事業	青少年室	地区青少年対策委員会が実施する青少年育成事業への助成を行い、地域における青少年の健全育成事業の充実を図る。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 14,995	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 地域の実情やニーズに合わせた事業展開が可能であり、効果も大きいと考えています。また、地域が事業を自ら計画・実施し、市が補助していくことが地域の教育力を拡大させる意味からも重要であり、今後も継続する必要がある。青少年対策委員会のほか青少年指導員会やPTAや子供会などと連携して事業を実施している地区も多く地域全体で取り組んでいて事業の成果は大きく、各地域とも様々な事業を行っており、事業費も適正であるため、継続すべき事業と考えている。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑯ 非行防止・環境整備事業	青少年室	各地区の青少年指導員、青少年対策委員会が中心となって、青少年非行防止に係る啓発活動やパトロールを実施する。	事業の一部が法定事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 268	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 大阪府下の青少年犯罪は年々減少していることや、大手コンビニ3社が成人向け雑誌の取り扱いを取りやめるなど、青少年の非行防止と環境整備については一定の成果があった。非行防止は、警察や行政だけで進めることはできず、地域ぐるみの取り組みとなるよう、継続すべきと考えている。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑰ 青少年問題協議会事業	青少年室	青少年問題の総合的施策の樹立についての調査審議及びその施策を実施するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 50	評価の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 青少年に関する課題に対し、関係機関や市民が集まり、市全体の総合的政策について情報交換や話し合いを行っている。いわゆる「非行」は減少傾向にある中で、ひきこもりや不登校などの課題を抱える青少年や生活困窮、家庭環境の複雑化等、複合化した課題を有する青少年が増加しているところから、今後は子ども・若者支援地域協議会との連携も含め、本協議会の在り方を検討していく必要があると考えている。	今後の方向性 縮小又は再構築など

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑱ 人権教育活動	青少年室	青少年に向けて人権意識の啓発を図る。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) —	評価の視点 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 青少年に向けた各事業を通じて、世代間交流や多様な体験に触れる機会を設けることで、人権意識を高めていく活動を行っている。今後も、各事業内容の充実を図り、青少年の人権意識高揚のため、継続して働きかけを行う必要がある。	今後の方向性 継続

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課

事業名	所管室課